

# 架け橋期のカリキュラム実践ハンドブック

～なだらかにつながる『連携・接続』をめざして～



令和8年3月

大阪市こども青少年局

大阪市教育委員会

## はじめに

大阪市こども青少年局 大阪市保育・幼児教育センターでは、平成30年度から「保幼小連携・接続推進事業（大阪市）」に取り組み、令和7年度で8年目となりました。この事業では、小学校を核とした「連携・接続」の進め方、あり方の研究に取り組んできました。第1期から第4期の12研究ブロックでは、それぞれの状況に合わせた「連携・接続」の実践研究の成果を発信しました。

文部科学省においては、「幼保小の架け橋プログラム」の取組を推進しており、このような国の動向も鑑み、「保幼小連携・接続推進事業（大阪市）」の成果を盛り込んだ架け橋期のカリキュラム実践ハンドブックを作成しました。就学前教育・保育施設（以下、「就学前施設」と言う）から小学校へとつながる【架け橋期】と言われるこの時期には、子どもたちが新しい環境で社会的な関係を築き始めます。就学前施設と小学校においては、この架け橋期の円滑な連携・接続をより一層高めることが求められています。乳幼児期及び学童期の子どもそれぞれの発達の段階を踏まえ、一人一人の多様性や0歳から18歳の学びの連続性を大切に、教育・保育内容や援助、支援、指導方法を工夫することが重要です。就学前施設同士も、就学前施設と小学校も、互いの教育・保育を知り、円滑な連携・接続ができれば、これまでも各校園所で進めている、一人一人の子どもを大切にされた教育・保育が充実していくと考えます。

子どもを取り巻く全ての大人が連携し、日々の子どもの育ちを喜び合うことで、子どもたち、保護者、就学前施設や小学校の教職員のウェルビーイングが実現できるのではないかと期待しています。

「架け橋期のカリキュラム実践ハンドブック～なだらかにつながる『連携・接続』をめざして～」は、大阪市保育・幼児教育センターホームページに掲載しています。

### 【引用文献】

- 「就学前教育カリキュラム」（大阪市）
- 「保幼小連携・接続推進事業（第1期から第3期）取組まとめ」（大阪市）

### 【参考文献】

- 「幼稚園教育要領」（文部科学省）
- 「保育所保育指針」（厚生労働省）
- 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」（内閣府 文部科学省 厚生労働省）
- 「幼保小の架け橋プログラムの実施に向けての手引き（初版）」（文部科学省）
- 「幼児教育と小学校教育がつながるってどういうこと？」（文部科学省）
- 「スタートカリキュラム実践ガイド」（横浜市こども青少年局・横浜市教育委員会事務局）
- 「接続期における教育・保育実践の手引き」（八尾市・八尾市教育委員会）

## 架け橋期のカリキュラム実践ハンドブック ～なだらかにつながる『連携・接続』をめざして～

令和8年3月 発行

編集・発行者 大阪市こども青少年局 保育・幼児教育センター

